

団体運営費補助金調査票（表）

補助金名	文化財保護協会補助金
------	------------

担当課	教育部 生涯学習課					実施主体	成田市文化財保護協会	
科目・事業コード	会計	款	項	目	事業	R06 予算額	0	千円
	一般	10	05	05	20 - 26		R05 予算額	180
新規・継続の別	継続					R04 決算額	0	千円
補助・単独の別	市単					R03 決算額	0	千円
補助の種類	団体運営費							
交付開始年度	昭和 51 年度	終了予定年度	令和 5 年度					

事業の目的・概要	<p>成田市に存する文化財（有形、無形、民俗、記念物）について、関心と理解を深めその保存及び活用を図り、市民の文化向上に資することを目的とする。</p> <p>この目的を達成するため、文化財の保護、活用、普及、調査、研究に関する事業を実施する。</p> <p>市として当該団体に補助金を交付し、上記事業を実施することにより、成田市の文化、伝統を学び、歴史、民俗に関する理解や文化財保護の啓発を推進する。</p>	補助対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史講演会 ・史跡めぐり ・博物館めぐり ・成田市の歴史探検隊 ・古文書から成田の歴史を学ぶかい ・文化財パトロール調査 ・保存会活動助成 ・公津支部活動助成 ・「成田史談」の発行 																					
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・成田市補助金等交付規則 ・成田市文化財保護協会補助金交付要綱 	補助基準等																						
留意事項		補助率	・補助基本額 180千円																					
決算内訳	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">令和 4 年度決算額 (単位：千円)</th> </tr> <tr> <th style="width: 33%;">収入額</th> <th style="width: 33%;">支出額</th> <th style="width: 33%;">翌年度繰越金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">収入額の内 自主財源</td> <td style="text-align: center;">市補助金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">自主財源比率</td> <td style="text-align: center;">繰越金/補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	令和 4 年度決算額 (単位：千円)			収入額	支出額	翌年度繰越金	7	0	7	収入額の内 自主財源	市補助金額		7	0		自主財源比率	繰越金/補助金					補助額	
令和 4 年度決算額 (単位：千円)																								
収入額	支出額	翌年度繰越金																						
7	0	7																						
収入額の内 自主財源	市補助金額																							
7	0																							
自主財源比率	繰越金/補助金																							

団体運営費補助金調査票（裏）

評価項目	内 容	評 価	評 価 理 由
公益性	基本構想、実施計画、個別計画など市の施策の方向性と合致しているか	はい	協会では、文化財についての関心、理解を深める活動を展開しており、成田市総合計画の基本施策に掲げる「成田の地域文化や伝統を学ぶ」に合致する。
	市民の利益に寄与することができるか（「はい」の場合、選択式）	はい	イ、文化・芸術・スポーツ等の推進に寄与することができる活動に該当
	市民協働を推進する目的があるか	はい	市と市民である協会役員、会員と事業を実施している。
	事業を実施できる団体は他にないか	はい	特になし
必要性	事業の目的・視点・内容が、社会経済情勢や市民ニーズに適合しているか	はい	地域の歴史に対し関心を持つ市民は一定数おり、各種事業にも多数の応募があることから、ニーズに適合している。
	市が関与する必要性があるか	はい	各種事業実施にあたり、市が文化財の所有者、管理者や研究者と情報共有をしていく必要がある。
	事業を実施しなかった場合に、大きなマイナスの影響があると認められるか	はい	文化財を実見したり、専門家の講演を聞くなど、文化財に関する知識を深める機会が減る。
	類似の事業はないか	はい	特になし
適格性 (妥当性)	団体等の活動内容が、補助目的と合致しているか	はい	文化財についての知見を深める歴史講演会、史跡めぐり、博物館めぐり等が計画されており、補助目的と合致する。
	団体を支援するに当たり、補助金の交付が適切な手段であるか	はい	文化財についての関心、理解を深めることを目的とする事業であり、収益が見込めないため、これを補完する必要がある。
	団体の会計処理や補助金の使途は適正であるか	はい	事業計画書に沿った処理がされている。領収書、預金通帳等により使途を確認できる。
	団体の決算における繰越金（剰余金）が補助金の額を超えていないか	はい	R04年度決算：補助額0千円、繰越額7千円
	対象経費は、規則・要綱等により規定されているか	はい	成田市文化財保護協会補助金交付要綱により、補助対象経費を定めている。
有効性 (費用対効果)	補助金を交付することによる効果を明確に示すことができる指標等はあるか	はい	歴史講演会、史跡めぐり、博物館めぐりの参加者数（H29：399人、H30：404人、R1：278人、R2：20人 ※活動縮小のため歴史講演会のみ1回実施）
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	市の文化財啓発活動に貢献している。
	事業を継続するうえで、補助は必要不可欠であるか	いいえ	会費、参加費等の自主財源により、事業の継続は可能である。
	補助期間（終期）を設定しているか	はい	令和8年度を終期としている。
最終評価	廃止		
評価者 所見	<p>当該団体の活動は行政と共同で実施する事業も多く、市民の文化向上に資するという目的を基に、行政の事業を補完する役割を担っていることから、公益性が高いと認められる。</p> <p>しかしながら、会費や参加費等の自主財源により、事業の継続は可能であることから、補助を廃止する。</p>		